

楽しく住みよい 環境都市の創造に向けて

みんなでつくる 大館市環境基本計画

環境アンケート調査結果から

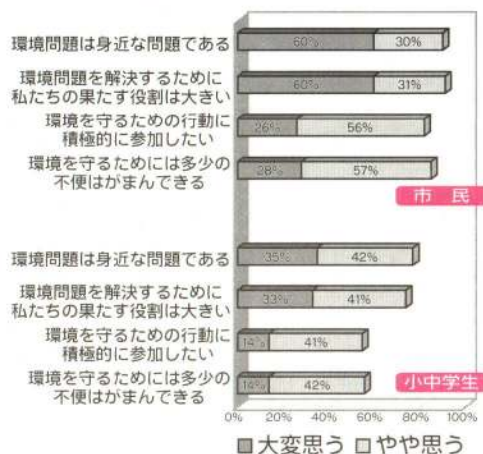
高い回収率や自由意見の多さは
環境問題への関心の高さのあらわれ
高い関心や問題意識の一方で、
行動がともわない実態も明らかに…

市では、今後の環境施策の指針となる「大館市環境基本計画」を今年度から二カ年で策定します。この計画に、より多くの市民の皆さんの意見を反映させるため環境アンケート調査を行いました。アンケート調査は昨年の九月から十月にかけて、市民（三千人）、小中学生（小学六年生六百二十人、中学二年生六百十一人）、企業（三百社）を対象に実施しました。回収率は市民四九％、企業五七％と郵送によるアンケートとしては高く、環境問題への関心の高さがうかがえます（小中学生は学校で配布回収）。今回は、このアンケート結果の概要をご紹介します。

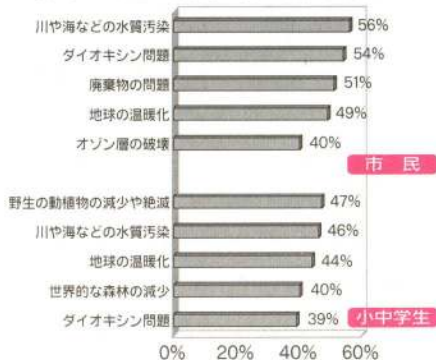
◆**関心のある環境問題**
市民については「川や海などの汚れ」「ダイオキシン問題」「廃棄物の問題」「地球温暖化」の順となっています。
小中学生では「野生の生物の減少や絶滅」が一位となっている点が、市民との大きな違いといえます。

◆**環境問題に対する考え方**
「環境問題は身近な問題である」「環境問題を解決するために私たちの果たす役割は大きい」という考え方に、市民の六割が「大変思う」と答えています。

【環境問題に対する考え方】



【関心のある環境問題】（複数回答）

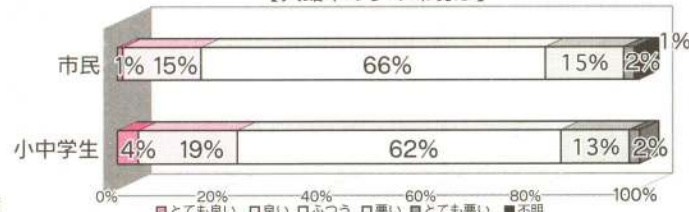


【環境的にすばらしい場所はどこ】（複数回答）



◆**大館市の環境**
今、これから
今の環境は、市民、小中学生ともに八割が普通以上と考えています。
一方、これからの環境については市民、小中学生とも四割が悲観的な見方をしてしています。
また、環境的にすばらしい次世代に残したい場所は、市民、小中学生とも「長走風穴高山植物群落」「白鳥広場（長木川）」が上位となっています。

【大館市の今の環境は】



【これからどうなと思いますか】

